



平成25年度 学校評価について

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。また、昨年12月には、皆様にアンケートをご提出いただきありがとうございました。

さて、皆様から頂きましたアンケート、そして、児童、教職員のアンケートをまとめ、それを学校評議員会に提出し、内容をご審議いただきました。今回の学校だよりでは、「保護者の皆様から学校に頂いたご意見に対する回答」および「保護者・児童アンケート結果（数値）」「学校評議員会で出されたご意見と学校の改善策」を掲載させていただきます。誌面で分からない点もあるかと思います。その際は、学校にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

学校評価保護者アンケートに対する Q & A

Q1 教員によって授業の工夫に差があるのではないかと。

A 教師の個性で授業の工夫は変わってきます。どの授業でも分かりやすい授業を行えるようにこれからも教材について工夫するなどしていきます。また、教員同士が授業を見合い、互いの良いところを学び合う機会を作っていきたいと思います。

Q2 学年が上がるほど基礎学力に差が出てくるとのではないかと。

A 学年が上がるほど学習内容は難しくなっていきます。夏期学力補充教室や個別指導を行い子供たちの理解度を高めていきたいと思っています。

Q3 算数の「少人数指導」はよいと思うが、「T. T指導」がよく分からない。

A 3～6年生は、学年を理解度に応じて分けて少人数クラスを作り、担任、算数担当教員、学力向上支援講師などが授業に適宜入って算数の学習をしています。理解度に応じることで、その子供たちにあった進度で学習をすることができます。

1～2年生は、担任のほかに算数の講師が算数の授業に入り、主に担任が全体指導（T1）、算数講師が個別指導（T2）を行って、理解に時間がかかる児童などの補助し、理解を深めていく指導を行っています。これが「T. T指導」です。



Q4 宿題がないと家ではほとんど勉強しない。自分から進んで学習させたいが難しい。

A 「10分×学年」がちょうど良い家庭学習の時間だと言われています。低学年、中学年では、漢字や計算問題、復習などの基礎的な勉強を一斉に宿題に出すことが多いです。



この低学年、中学年で家庭学習の習慣を身に付けて、高学年では、「自主学習」（自分でテーマを決めて学習する）ことができるように継続していくことが望ましいです。

Q5 子供のトラブルがあったときにいねいに対応してもらっていると思うが、「豊かな心」「思いやり」が育っていない子供もいる。

A 学年が上がるにつれて、思春期に入り、友達関係などが難しくなります。その際、暴言をはくことや友達を無視するなどということが見られます。「自分も相手も大切にする」という相手意識を常に育てていきたいと思います。また、担任だけでなく、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員などにも、子供が気軽に相談できるようにして、子供たちが心にストレスを抱え込まないようにしていき、豊かな心や思いやりを育てたいと思います。

Q6 子供たちは自分の健康についてあまり意識していないのではないか。

A 学校では年間を通して、指導計画に基づいて健康についての指導を養護教諭が行っています。今、感染性の胃腸炎やインフルエンザが流行っていますが、手洗い・うがいの励行は1年間を通して行っています。

Q7 地震や火事、交通事故などの災害、事故が頻繁に起こっている。子供たちに自分自身を守る意識は本当に育っているのか。

A 地震や火事はいつおこるかわかりません。どんな状況でも、自分自身の身を守る力を育てるために、年間を通して様々な場面設定を想定した避難訓練を実施しています。その中で、「自分の身は自分で守る」ということを意識させていきたいと考えます。

また、交通事故では、小学生の自転車の事故が多いです。自転車に乗るときのルールをしっかりと守らせていきたいです。加えて、小学生でも自転車事故の加害者になることが増えています。正しい乗り方ができるように、学校でも家庭でも指導していく必要があると思います。

防災教室は、発達段階に応じて今年度は学校主体で各関係団体に協力頂き、実施しました。大変、有効でしたので、町会をはじめ様々な機関の協力を頂いて次年度も実施していきたいと思います。



Q8 給食は食べているようだが、家での食習慣がなかなか身に付く。好き嫌いも多い。

A 様々な食があふれている現代では、好き嫌いが多くなりがちです。「この食べ物にはこういう栄養がある」または、「この食べ物は、子供の成長に必要である」などという説明を学校ではしていきたいと思います。「見たことがないから食べない」「においが嫌い」など、食べず嫌いを減らしていきたいと思います。



Q9 「小竹の森音楽祭」の保護者の負担が大きい。

A 「小竹の森音楽祭」は、小竹小学校ならではの、町会、PTA、学校が一体となつての歴史のある音楽会です。練馬区の中でも唯一の手作り音楽会だと思います。

保護者の方々には大変ご苦勞をおかけしますが、効率化を図りながら歴史ある音楽会を実施していきます。

